

終活の社会性

終活をしない事で 起きる社会問題



一般社団法人 終活協議会
思いコーポレーショングループ

目次

01. 終活をしない人が増えている現状
02. 家族や周囲にかかる大きな負担
03. 社会全体に広がる問題
04. 終活は社会を支える行動でもある



01. 終活をしない人が増えている現状

高齢化が進む一方で、

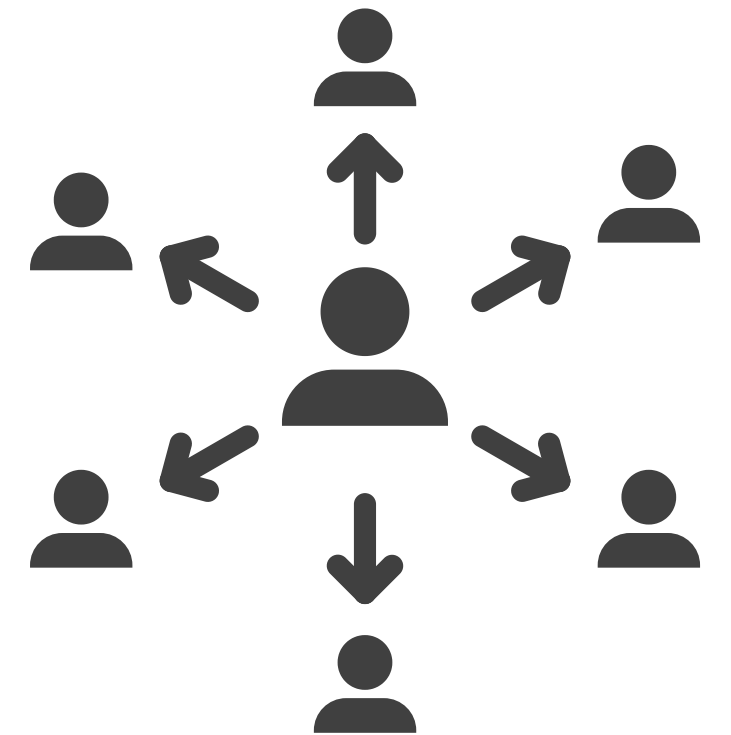
終活をしないまま高齢期を迎える人も増えています。

理由としては、

- ・まだ元気だから必要性を感じない
- ・何から始めればいいのか分からない
- ・縁起が悪い話だと感じてしまう

といったものがあります。

しかし、終活をしないまま何かが起きると、その影響は本人だけでなく、
家族や周囲、さらには社会全体にまで及ぶことになります。



02. 家族や周囲にかかる大きな負担

終活をしていない場合、

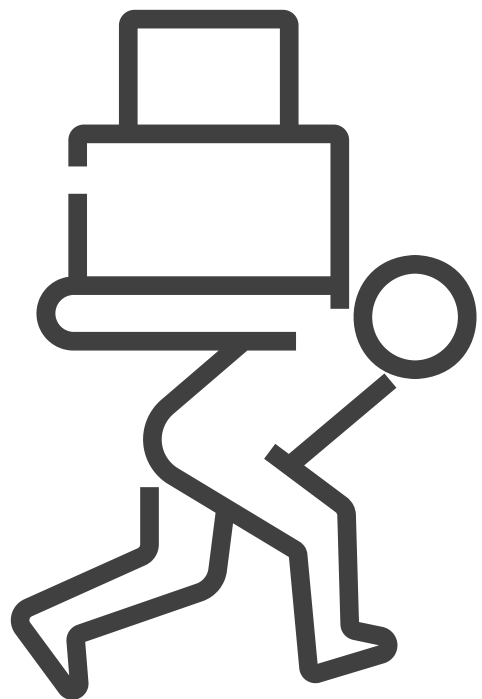
次のような問題が起こりやすくなります。

- ・ 医療や介護の判断を家族が突然迫られる
- ・ 本人の希望が分からず、家族が悩み続ける
- ・ 葬儀や供養の方法で家族間トラブルが起きる
- ・ 財産や契約内容が分からず手続きが進まない

こうした状況は、

家族に精神的・時間的な大きな負担を与えます。

終活は、**家族を守るための準備**でもあるのです。



03. 社会全体に広がる問題

終活をしない人が増えることで、
社会全体にも次のような影響が出ています。

「孤独死や無縁社会の増加」「行政や福祉サービスへの負担増加」

「相続や財産管理が滞ることによる空き家問題」

「医療・介護現場での判断の困難化」

これらは 個人だけでは解決できない「社会問題」として
年々深刻になっています。

終活は、

こうした問題を未然に防ぐための重要な取り組みでもあります。



04. 終活は社会を支える行動でもある

終活をしないことは、
「自分の問題」では済まされない時代になっています。
一人ひとりが、「自分の意思を整理し」
「周囲と共有し」「必要な準備を進める」
ことで、家族の負担を減らし、
社会全体の問題解決にもつながります。

終活は、
自分のため、家族のため、そして社会のための行動。
早めに考え、少しずつ始めていくことが大切です。



Thank you!

ありがとうございました！



全国に終活の輪を広げる
社会貢献活動を目指しています

